

R RIVIERA

リビエラライフのためのマガジン

NO.

15

SUMMER 2021

モノを磨き、 技量を磨き、 心を磨く

株式会社リビエラホールディングス
代表取締役会長兼社長 渡邊 昇



レストアの完遂は “ゴール”ではない

設計図も職人も造船所も、何もない中から始めた6年を超えるレストアプロジェクトを終え、この6月、ついに職人チームの総責任者である棟梁のポール・ハービーから歴史的木造帆船「シナーラ」の引き渡しを受けました。

西洋帆船のレストア専門家がないこの国に、本場の技術を伝えてくれた世界12か国50人の職人に感謝しています。彼らなくして、このプロジェクトは成しませんでした。

しかし、レストアを完遂したただけでは50%。これを引き継ぐのは、リビエラ社員から抜擢されたクルーです。帆走して初めて魂が吹き込まれるのがヨット。クルーが育つてこそ、シナーラは“完成”

するのです。

社員クルーによるセールトレーニングは、すでに13か月に及ぼうとしています。この間、操船と船体保守の技能訓練だけでなく、“海の貴婦人”といわれるシナーラにふさわしい心のありようを模索しています。世界の情勢や70年を超える人生で感じてきた私の思いを伝える人生で感じてきた私の思いを伝えてきました。最初は遠慮がちなクルーの言葉が、航海訓練を重ねるたびに確信的になってきています。一人ひとりの人格の高まりを感じています。この私たち自身の“磨き上げ”は、これからも続きます。

ひたすら磨く意義を 知った30余年

理念の一つとする「古き良きモノ

を後の世代に繋ぐこと」と、ただ維持することは、似て非なる営為です。かつて米国ロサンゼルス（RCC）を事業継承できることになったとき、現地メディアには「なぜ日本人が……」とする厳しい論評が出たものです。私は前オーナーのハザウェイ氏に誓いました。「RCCをひたすら磨く。そして、守りながら進化させる」と。

それから今日まで34年。齢90を過ぎて矍鑠たるハザウェイ氏は、毎年RCCを訪れて、会うたびに温かい言葉をかけてくれます。試行錯誤の年月でしたが、「あなたに託す」と言ってくれた前オーナーの心に叶う運営ができていることは、私の小さな誇りです。

シナーラへ寄せる思いも同じ。

SDGsフェスと 伝統のレガッタと

環境や普遍的な価値観を、後世に継いでいくための活動がSDGsです。多様な観点からシナーラで取り組んでいることは、リビエラにとって、まさにSDGsの象徴といえるでしょう。

SDGsに同じ志を持つ人々や組織をつなぐ“ハブ”となり、連鎖

を起こしたいと始めた「リビエラSDGsフェス」には多くの賛同をいただき、理念でつながる同志の輪の広がりを実感しています。この6月の第2回もコロナ禍によりオンライン開催となりましたが、第3回（10月31日予定）こそは、皆様が参加し体験できる場とすべく準備を進めています。

またSDGsフェスと時期を同じくして、欧州伝統のヨットレース「Svan Regattas」を、アジアで初めて開催する運びとなったことも、この秋のトピックです。10月29〜31日予定の「リビエラ・スワン・アジアレガッタ2021」は、全世界の愛好家が「いつかはSWAN」と憧れる近代ヨットSWANとリビエラの共催。

海外のレガッタはヨット文化の精髓。競技だけでなく、付帯するイベントやブース、パーティーも含め重要な社交の場とされています。フェラガモ社の総帥でSWAN社オーナーも務めるL・フェラガモ氏ら、多くの友人たちも楽しみに来日を表明してくれています。

シナーラの壮挙と併せ、このレガッタが、日本のヨット文化の転換点となることを願って……。



発行
株式会社リビエラホールディングス
編集・制作
リビエラマガジン編集部

〒107-0062
東京都港区南青山3-3-3
リビエラ南青山ビル
TEL. 03-5474-8120
www.riviera.co.jp

広告のお問合せ先
リビエラマガジン編集部
TEL. 03-5474-8120

CHIEF EDITOR
渡邊 華子

EDITOR
内村 朱希
石井 小百合

PHOTOGRAPHER
矢部 洋一(P2、10~14、22)
松川 真介(P23)

WRITER
丸山 けんおう(P2、4~14)
飯島 圭子(P22)

※本誌に掲載している情報、日程、営業日、営業時間、料金などは予告なく変更される場合がございます。最新情報は各ページに記載されていますwebサイトをご覧ください。

FEATURES

4 RIVIERA INTERVIEW VOL.14

海洋冒険家

白石 康次郎さん

SPECIAL ISSUE

10 完遂。栄誉。大いなる学び。

されど、いまだ道半ば。

シナーラ・プロジェクト

REGULARS

2 モノを磨き、技量を磨き、心を磨く

株式会社リビエラホールディングス

代表取締役会長兼社長 渡邊 昇

15 Riviera Sustainability Project

日本海洋アカデミー Jr. Yacht Club

「ブルーシーフードパートナー」加盟

リビエラSDGsプログラム

TOPICS

19 リビエラ逗子マリーナでラグジュアリーに船舶免許取得

20 大自然に抱かれた相模湾で、ISPAのプログラムにチャレンジ

Riviera Sail & Power Academy

22 RIVIERA STAFF'S VOICE

シナーラクルーに抜擢されて叶えた

幼き頃からの夢、そしてロマン

23 “火の国” 熊本の旬を茶寮リビエラの庭で味わう

24 Pick Up

27 INFORMATION

海洋冒険家

白石康次郎さん

Shiraishi Kojiro

大冒険は終わらない
僕も、リビエラも

インタビュー：渡邊華子

2021年2月11日、日本の——いや、アジアのヨット界はこの朗報に沸き立ちました。世界一周を4度も成し遂げた、日本が生んだ世界の海洋冒険家・白石康次郎さん。“最も過酷”な単独無寄港無補給の世界一周ヨットレース「ヴァンデ・グローブ 2020-2021」で、アジア勢として初の完走(33艇中16位)を達成。少年の日から不変の夢を追い続け、会うたびに笑顔と元気・挑戦への勇気をくれる冒険家が、また1つ念願を果たしました！

Profile
白石康次郎
Shiraishi Kojiro

1967年、東京生まれ、鎌倉育ち。横浜国立大学教育学部附属鎌倉小・中学校卒業。神奈川県立三崎水産高等学校(現：神奈川県立海洋科学高等学校)卒業。高校在学中から、史上初の世界一周単独ヨットレース優勝者・多田雄幸氏に師事。師の没後、船を受け継ぎ、26歳の時、最年少(当時)で単独無寄港世界一周航海を達成。以後、今日までヨットによる単独世界一周を4度達成。「リビエラ海洋塾」塾長。

子どものころから
変わっていない

——この度はヴァンデ・グローブ完走、おめでとうございます！

私たちリビエラは、レースの間、ずっと白石さんの航跡を追っていました。嵐でメインセーラーを破壊された際には、前回マスト倒壊でリタイヤしたのと場所も近かったので、私たちも固唾を呑んだものでしたが、1週間後に再び快走を始めたのを見て大興奮しました。

白石 いつも温かく応援してくださりありがとうございます。真つ二つに裂けたセーラーを何とか修復できたとき、僕も「ひよつとしたら今回は奇跡が起こるかも」とは思いましたが、完走できる見込みが

立ったのは、フィニッシュの10分前です。

——港に入る10分前！

白石 何が起こるか最後までわかりません。夜の大洋でクジラに体当たりされたら一巻の終わり。姿が見えるわけではないので、避けようがない。岸まで来れば漁船などで混み合っているから、ゴール寸前で衝突沈船もあり得る。ヴァンデ・グローブとは、そういうものです。——わずか10分先の見通しが立たないから“冒険”なんですね。

そんなシビアな冒険を30年以上続けてこられた白石さんの少年時代を教えてください。

白石 ごく普通の子どもだったと思います。生まれは東京ですが、

幼稚園のころに鎌倉に転居して、鎌倉の海と山を満喫して育ちました。通った長谷幼稚園では園児に地引網をさせたりするんです。

小中学校は、鶴岡八幡宮の隣にある横浜国立大学の附属校。クラスメートはたいてい、電車やバスを乗り継いで遠くから通っている。帰宅後待ち合わせて遊べない分、下校しながら遊ぶわけですが、たとえば鬼ごっこでも、江の島あたりまで逃げていく子もいるんです。鶴岡八幡宮から江の島までは、ざっと10キロくらい。

——そのスケールの大きさは今に通じるものがありますね！

白石 鎌倉じゅうが遊び場でしたね。で、暗くなって家に帰るとプ

ラモデルです。軍艦のプラモばかり作っていました。今はヨット建造をしますが、これは本当に乗れるフルスケールのプラモ作りみたいなもの。

——それが世界の海洋冒険家の原体験ですか？

白石 そうそう。僕の人生はとてもシンプル。子どものころから変わってないんです。みんな集まると声をかけて、大好きな船を造って、遠くまで行って、遊びを追求……。年齢とともに距離は伸びていって、ついには世界一周にまでなっちゃいましたけど。

僕が船を始めたのは、海外への憧れからでした。テレビで『兼高かおる世界の旅』(1960〜1990



年、TBSにて主に日曜放映)を毎週見ていて、僕も世界を巡ってみたいと思った。でも、ゆとりのある家庭ではなかったから、世界一周の夢を叶えるには、船乗りになるしかない。そう思い、水産高校に進むことを決めました。

——国大附属中から水産高校への進学は異例なこと。ご家族は反対されなかったのですか？

白石 僕は小学1年生で母と死に別れて、父と祖母に育てられたんですが、「自分のことは自分で決めなさい」とふたりとも僕がすることをいつも認めてくれた。

入学した県立三崎水産高校(現・海洋科学高校)では機関科に進みました。ここで船舶全般を基礎から学び、海の厳しさとメカニック技術を叩き込まれた。水産高校で

の学びは、後年、役に立ったことばかりです。

恩師との出会い 駅の電話帳で調べて

——水産高校ではエンジンとスクリューで動く船を学ばれたのですね。では、ヨットとの出会いは？

白石 高校に入ってから、史上初の世界一周単独ヨットレース「BOCチャレンジ」で日本人が優勝した、というビッグニュースが飛び込んできたんです。矢も盾もたまらなくなつて、弟子入りを志願しました。

あのころは今と違って電話帳を見れば住所が載ってたから、東京駅で電話帳を調べました。

——それが伝説的なヨットマン、多田雄幸さん。

白石 多田師匠は文字通りの天才。なにしろ船造りの発想がユニーク、というか自由奔放で。ゴミ置き場から拾ってきた桐タンスが艇内に埋まっていたりして。

——廃材から船を造るなんて、今の時代のエコロジーを先取りしていますね。

白石 いやいや、今のレース艇では考えられません。当時だって多田

関を学んだ僕は、エンジニアタイプ。この点は僕のヨット乗りとしての持ち味だと思っています。

実のところ、僕はヨットの操船は決して得意ではないんです。僕より上手な人はいくらでもいる。でも、船に何かあった場合の対応力には自信があります。

今回のヴァンデ・グロープでも、北大西洋のど真ん中でメインセーブルが真っ二つに裂けてしまうトラブルに見舞われましたが、手持ちの資材で補修して完走することができた。世界トップクラスのヨット



三崎水産高校時代。師匠の多田雄幸さんと。

ト乗りでも、これができる人は、まずいないんじゃないかな？

学校で教わった理詰めの技術と、師匠が間近で惜しみなく見せてくれた奔放な応用力が、僕の両輪。今回の完走も、この両輪の賜物です。

——学校での勉強も大事。柔軟な思考で人から学び、その時その場に対応できることも大事。基礎力と応用力を身につけること。子どもたちに伝えたい真理ですね。

悲劇を乗り越えて 最年少記録達成

——白石さんの名を一躍世界に知らしめたのは、1994年3月に打ち樹てた単独無寄港世界一周航海の「史上最年少記録(当時)です。あの航海は「最年少」を狙ったチャレンジだったのですか？

白石 あのときは世界一周レースに出るのが目的で、記録は結果的についてきたまでのこと。

82年の第1回BOCの後、僕を弟子にしてくれた多田さんは、還暦を迎えた90年の第3回BOCで世界一周に再挑戦しました。「俺はこれで引退する。船も譲るし、サポートもするから、94年のBOCは康ちゃんが行け」と言ってくれ

ていたんです。そうして臨んだレースで、多田さんは南氷洋で転覆して船を破損。シドニーに入港した時点でリタイヤしました。

師匠が遺した船をシドニーで何とか直して、ホームボートの伊豆松崎に回航しました。松崎で徹底改修を施し、艇名を「スピリットオブユーコー」と改めて、世界一周をめざしました。

——念願の単独無寄港世界一周を果たされたのは、恩師の死から丸3年後。満26歳の壮挙でした。

白石 当時の最年少記録が27歳だったことは雑誌で読んで知っていましたが、特に意識していたわけではありません。「今、成功したら記録更新だなあ」とは思いません。

その後、2002年に「アラウンド・アローン」と名称が改まったBOCに参戦しクラスII(40ft)4位入賞。これも「世界一周」のレースなのですが、お金がなかったのて日本から発地までの回航も自分一人で行いました。だから、僕だけ実際は「単独世界1・5周」だったんです。

——それは「記録に残らない大記録」！

雄幸だからできたこと。

多田さんは世界屈指のヨットレーサーでしたが、生業は個人タクシードライバー。自由が利くという理由でそういう仕事に就いていたわけですが、もともとは旧制長岡中学から予科練に進んだ軍国時代のエリート。先輩には山本五十六がいて、同級生には「歴史探偵」で名高い作家の半藤一利さんがいたりする。芸術家気質で絵画の二科展にも入選しています。

思いも寄らない発想で、ゼロから船を手造りした多田さんは、まさにアーティストでした。

理詰めの技術と 師匠譲りの応用力

白石 柔軟すぎるほどの発想力という点では、僕は師匠にとっても及びません。機械好きで学校でも機



プラモデル作りに熱中した幼少期

好きなことをやれば 人生はいつも夏休み

——2007年には再度名称が改まった「ファイブ・オーシャンズ」クラス(60ft)に、日本人として初参戦して堂々2位完走。

この他、巨大双胴船のクルーとして太平洋横断世界記録更新に貢献したり、トレッキングやカヌー、ロッククライミングといった各種の過酷なタスクを包括するアドベンチャーレース「エコ・チャレンジ」に出場したり……と、冒険家としての名声を揺るぎないものに。

その一方で、子どもたちの育成指導も熱心に取り組んでおられます。リビエラのSDGs「リビエラ未来創りプロジェクト」に協力くださり「リビエラ海洋塾 塾長」にも就いていただいています。

白石 初めて「リビエラ海洋塾」のお話をいただいたのは、東日本大震災の影響で海外での大きなレースに出られなくなっていたころ。天が与えた「待機時間」と捉えて、当時幼稚園生だった娘の送り迎えをしたり、ゴルフに打ち込んでみたりと、それまでやってこなかったことに取り組んでいた矢先でした。



「リビエラ海洋塾」塾長を務める

そんな悶々としていた時に、リビエラから機会をいただいて、子どもたちに教える醍醐味を味わい、そして子どもたちから元気と勇気をもらいました。

——あとき「塾生」だった小学生たちも今は成人。「続けることが大事だったんだ。好きなことじゃないと続けられないから」と白石さんの教えに気づいています。

白石 「今から人生遊んで暮らせる方法を教えてやる！」と本気で言ってしまったからね。今回のヴァンデ・グローブも、その模範演技みたいなものです。「大好きなことを思いっきりやり続ければ、人生はいつだって『夏休み』なんだ！」

わけだから。そう思っています。

日本のヨットが花開く 大冒険は未来に続く

——欧米の識者から「日本は海に囲まれているのにヨット後進国で、海での文化が未成熟なのが不思議」といわれることもあります。白石 日本ではヨットといえば

と思ってもらえたら嬉しいのです。

——海洋塾では、付き添いの保護者も刺激を受けたようです。「大人の海洋塾」も人気でした。

白石 大人には、カッターボートを体験してもらいました。体力的にはキツかったはずだけど、皆さん一心不乱にオールを漕いで、最後は大はしゃぎ。大人が楽しむ姿を見せるのが、子どもには一番です。大人にも、こういうことって、やっぱり大切なんだと痛感しました。『塾』なんですけど、心身を鍛えるとか海洋技術を磨くとかではなく、単純にストレス解消でもいいじゃないですか。

それには海がいちばん！

『お金持ちのレジャー』との偏見がありますが、大航海時代に船で世界を制したヨーロッパ人にとっては、親から子へ受け継ぐスポーツであり、いわば国技。僕らにとつての相撲や柔剣道なのでしょう。

その点については、僕はこういう説明をしています。日本は台風の通り道だから、港は造りづらいと

水質向上した 海水に潜む強敵

——今回のヴァンデ・グローブでは、海洋研究開発機構（JAMSTEC）に協力して、レース中の海域で海水サンプルを採取してこられたとか。

白石 海洋プラスチックによる汚染状況の実地調査です。他には赤道の近くで気象ブイを落としてきた選手もいます。

厳しい南氷洋回りで『世界一過酷なヨットレース』といわれるヴァンデ・グローブですが、必ずしも勝負至上主義ではない点がいいところ。出場する選手たちは、それぞれが個人的なテーマを持ってレースに臨みます。その辺りは、ワークスチームが最先端技術と大資本を投じてシビアに覇を競うアメリカズカップなどとの大きな違いです。ヴァンデグローブは、個人主義が徹底しているフランス流なんです。

もちろん優勝をテーマとする選手もいますが、今回の僕は「前回果たせなかった完走」がテーマ。タイムロスを気にする必要がないので、JAMSTECのリクセス

いう事情が根底にあります。そして日本は鎖国をしていましたよね。欧米的な帆船文化より先に、漁場と魚を食べる豊かな食文化が開いた。近海に良い漁場がありますし。文化の成り立ちが、ヨーロッパと日本では違うのです。そのことを欧米人たちは知りません。

鎖国を解いて150年。マリンスポーツが普及し始めたのは戦後。日本のヨットはこれからですよ。その意味で、英国の伝統文化の精髓ともいえる「シナラ」を遠く離れた日本で完全レストアしたことは、歴史的にも偉業です。万難を排して「やる」と決めた勇氣と、この快挙を成し遂げた渡邊会長のロマンを、ヨーロッパ人たちは良く知っていて称賛していますよ。

シナラは、本当に美しく蘇りました。レストアは日本では馴染みがないけど、伊勢神宮という式年遷宮ですね。——式年遷宮との対称は、渡邊もよく語っています。シナラはSDGsそのもので、まさしくリビエラのフラッグシップです。環境、教育、健康・医療の3つの軸で取り組んでいるリビエラの

トは大歓迎でした。調査観測には多くの選手が協力しました。

——実際にご覧になった世界の海の水質はどうだったのですか？

白石 全世界的な環境意識の高まりもあって、最近の海洋水は澄んでいるといわれています。

今回の航海で、僕も水質そのものの向上は実感しました。でも、澄んだ水の中に、細かくなったプラスチック片が混じっています。まったく臭わないし、パツと見では見えにくい。それだけに厄介。油などよりはるかに強敵です。

——本当ですね。大きなゴミは少なくなってきたので、今はマイクロプラスチックに着目し、私たちはトングではなくザルを持って地道なピーチクリンをしています。

海洋プラスチックの原因は、よく話題にされるペットボトルやレジ袋以外にも様々な海洋浮遊物があるといわれていますよね。

白石 僕は科学者ではないので解決方法を示すことはできません。僕にできることは、海の真ん中で見た事実をそのまま伝えることだけ。

でも、それが大好きな海を、後の世代に残すことに繋がるはず。誰だって、海は美しいほうが良い

SDGs「リビエラ未来創りプロジェクト」を各事業と連動しさらに強化していくのは、今の私たちの大切なミッションです。

白石 6月にオンラインで収録した「第2回リビエラSDGsフェス」に参加して、私もトークセッションしました。自分たちのこと、地球のこと、未来のことを、それぞれの視点で語り合うことは大事で、有意義な時間でした。他の登壇者とも様々なお話しができたことは、SDGsの連鎖を起こしたいというフェスの趣旨にあっているというね。ぜひ視聴してほしいです。

僕も50代半ばになって、ヴァンデ・グローブの直前には思わぬ大病をしたりしましたが、まだまだやりたいことだらけ。

リビエラの挑戦はこれからも続くのですね。僕も負けません。大好きな冒険の旅に挑み続けていきたいと思います！

白石氏も登壇した
「第2回
リビエラ
SDGsフェス」
の様子はこちら



photo by Yoichi Yabe

「ヴァンデ・グローブ 2020-2021」でアジア人初の完走

完遂。栄誉。太いなる学び。
 されど、いまだ道半ば。

シナーラ・プロジェクト

リビエラが総力を結集して2015年から取り組んできた歴史的木造帆船「シナーラ」のレストア・プロジェクトは、2020年3月に進水。以来、海に浮かべながらレストア作業を続け、シナーラは相模湾を舞台として、リビエラ社員で結成したシナーラ・クルーチームによるセールトレーニングを続けています。この6年を超えるプロジェクトの歩みを振り返ります。



設計図さえなかった 100年に一度の挑戦

「メイド・イン・ジャパン——それは残された『最後の一艇』。ニコルソンの巨大帆船が還ってきた。シナーラの復活は、日本の壮挙だ」権威あるイギリスの帆船専門誌『Classic Boat』最新刊(2021年6月号)の誌面に躍る見出しです。プレジャーボートの歴史そのものが終戦以降である日本とは異なり、十五世紀の大航海時代以来の伝統を持つヨーロッパでは、クラシックボートを大切に扱い、レストア(修復)して乗り継いでいくことが、いわば歴史に根ざした「文化」です。

とはいえ、潮風と陽光にさらされ波浪に洗われる木造船が、長寿を保つのは稀有なこと。1927年初進水のシナーラと同程度の艇齢を持つ帆船は、今の時点で、全世界に30艇ほどしか残っていないといわれています。

シナーラのレストア・プロジェクトでマスターシップライト(棟梁)を務めた英国のベテラン船大工ポール・ハービーは言います。

「シナーラと同等のクラシックヨットのレストアに関わる機会

は、生涯に一度あれば幸運だ」

レストアの可能性を残す『最後の一艇』と目され、本場ヨーロッパでは「長く所在が掴めていない」とまでいわれたシナーラ。それが生まれ故郷を遠く離れ、欧州ヨット界にはあまり情報流通のなかった日本のリビエラシーボニアマリナに現存し浮かんできたこと、かつまた、リビエラが万難を排して日本での完全レストアに挑戦したこと、日本のみならず世界のクラシックボートに関わる人々が賛嘆の声を届けてくれたのは、こうした事情があります。

しかし、賛嘆と同時に「日本で本当にできるのか？」と懐疑する識者・愛好家が少なからずいたことも無理からぬことではありました。なにしろ、リビエラがレストアプロジェクトを立ち上げたときはおろか、作業が始まってしばらくしても、シナーラの設計図さえなかったのですから。

オリジナルへの 究極のこだわり

私たちは目の前にあるシナーラと徹底的に向き合うことで、構造を解析し、設計図を起こしてレス



トアをやり抜くつもりでいました。実際、傷んだ船体のパーツひとつひとつを丁寧に取り外し、それらに番号をつけながら精密に記録。そして、現物をもとに一から図面を作成していきました。この解析で、創建時の設計図には表されていない細部へのこだわりを、いくつも再発見しています。

後に、創建当時の設計図が英王立グリニッジ博物館に保管されていることがわかり、私たちのプロジェクトは大きく前進しました。

シナラの初代オーナーであるロイヤル・テムズヨットクラブのH・G・ナットマンは「世界最高最良の木造帆船をつくる」との信念を持ち、チーク材をはじめとす

る資材の吟味から始めて、造船に十数年の歳月をかけたといわれています。シナラが「海の貴婦人」の名をほしいままにしたことの背景には、当時世界トップクラスと言われたチャールズ・ニコルソン氏による設計とキャンパー&ニコルソンズ造船所（1979年より順次閉鎖）の卓越した造船技術と並び、造船主の資材へのこだわりがあったことはいうまでもありません。

100年先を見越していたかのようなこのこだわりは、「持続可能」を謳う今日のSDGsの理念を先取りしています。

解析・検証の結果、船体外板のチークは92%など、建造当時を選び抜かれた資材は、かなりの割合



でリユースできることがわかりました。傷んだ箇所のみ新しい木材に置き換え、現代の技術で補修し丁寧な磨き上げる。約100年前の建造当時がそのまま残っている希少なシナラのオリジナルにこだわった究極の復元です。

1926年開業のリビエラカントリークラブをフラッグシップとして、古き良きモノを大切に磨き上げる理念を持つ私たちにとって、人の目につかない細部にまでこだわりが込められた先人の思いを未来へと伝え残すことが、このプロジェクトの主題でした。

こだわりは 国も文化も超える

日本には優れた木造建築の伝統技術があり、最先端の船舶技術もあります。しかしながら、100年前のクラシックボートとなると、話は別。歴史的に、西洋式の木造帆船を造る技術の蓄積がなく、シナラのレストアを託せる造船所や職人が国内には存在しないことがわかっていました。

たとえば、シナラを生んだヨーロッパに移送すれば、技術者や資材調達の確保は容易だったかも

すぐに打ち解けた。そして、同じレストアのプロとして、シナラと出会えた奇跡に全員が感動し、家族同然のような絆が生まれた」（ポール棟梁談・以下同）

同じモチベーションを持ち、同じ奇跡を信じる職人に国境などないということでしょう。

「Mr. WATANABEは毎週のようにドックにやって来ては嬉しそうに船を眺め、職人たちの声に耳を傾けた。この船を建造した100年前の人々のこだわりを大事に、そして、現代のあなたたち自身もこだわりの尽くしてほしい。そのためにリビエラにできることはすべてやるし、何年か経っても必ず完成させる覚悟だ、とも。職人としてこれほど嬉しいことはない。私たちも必ずやり抜くと誓った。Mr. WATANABEのロマンが皆を動かした。専門の造船所ではなく、勝手のわからない日本で、当初は資材調達先から何から何まで苦労したが、リビエラのスタッフとも連携したことで、穏やかな入り江の小網代湾と富士山を目の前にした美しいマリナーで仕事に打ち込むことができて、感謝している。私たちはチーム・シナラであり、

しれません。が、それでは、日本に技術は残りません。

そのノウハウを日本に伝承するために、今回のレストアは母港のリビエラシーボニアマリナーで行うことに意義がある——この冒険とも思えるリビエラの決断に志を立て、世界12か国から集まったのが、木造帆船に豊富な経験を持つ50人の船大工や職人たちです。彼らは数年前がかりのプロジェクトのために故郷を離れ、三浦に居を移しました。中には家族を伴ってきた者もいます。

船造りはチームワーク。通常は単一の造船所が引き受けて、気心知れた職人たちが、阿吽の呼吸でする仕事といえます。しかしシナラのプロジェクトは、各国からその時その時必要となる技術を持つ船大工が集まる混成チーム。船大工たちはお互いを知らない仲だったわけです。彼らに共通していたのは「シナラ級のクラシックヨットなら、ぜひ携わりたい」という職人魂だけ。

「顔も名前も知らない職人たちが、Mr. WATANABEの情熱的なオファーに心惹かれて集まった。国籍も言葉も違っても、技量を認め合い、互いに尊敬し合えた僕らは

リビエラの家族なのだ」

リビエラシーボニアマリナーの特設ドックには、本場のレストア技術獲得のため、少人数ながら日本人の職人も参加しました。

「日本人職人は、船造りは初めて。技術伝承はプロジェクトの主要目的の一つだから、ペンやチャックと、当初は教える態度で彼らに接した。だが、工程が進むうちに誤りだったと気づいた。真面目な日本人ならではの正確な作業に、ヨーロッパの職人も教えられた」

職人相互の信頼感に満ち、和気あいあいとした特設ドックでは、ヨーロッパから日本への技術伝承だけでなく、本場の職人同士も学び合い、互いの技術を習得し合っていました。まさに国際協働プロジェクトならではのエピソードです。

『ゼロからの挑戦』は レストアもクルーも

シナラのレストアという悲願が成就した今、次のステップとして真っ先に注力したのが、現役のリビエラ社員から抜擢したチーム・シナラのクルーの確立です。2020年3月に再進水を果たして以来、シナラは社員クルーに

日本海洋アカデミー Jr. Yacht Club

リビエラのSDGs「リビエラ未来創りプロジェクト」として
海洋プログラムを提供する「日本海洋アカデミー」で、
昨年からのスタートした「Jr. Yacht Club」が、今年も始まりました。



小学生から高校生までを対象にした「Jr. Yacht Club」は、タイムレースのためのヨットスクールではなく、ヨットを通じて、海で過ごす心地良さ、環境の大切さ、仲間を思いやりコミュニケーションを深めることを体験から学ぶクラブです。全15日程度のスケジュールで、経験豊富なインストラクターと一緒に活動し、お子様と親御様に大変好評いただいています。

プログラムでは、ハンザクラスディンギーやオープンスキフヨットを使用した艦装から操船の実践を通じて、ヨットの構造を学びます。また、ヨットが風で走る理論を座学で、そして陸上での救急対応なども学びます。リビエラが力を注ぐSDGsの目標14「海の豊かさを守ろう」が活動の根幹となり、子供たちが自ら考え実践しています。

昨年2020年度の活動では、自分たちで木造ヨットを製作し、完成したヨットでセーリングをしました。年齢の近い横のつながりと、年齢を超えた縦のつながりで協力し合いやり遂げた達成感は何にも代えがたい尊い体験となりました。

海に囲まれた日本にも関わらず、海から陸を見たことがないお子さんがほとんどです。世界と同じレベルで日本に

ヨット文化が根付き、豊かな海の文化が発展することを私たちは願っています。自然豊かな相模湾で、のびのびと活動しながら成長できる、アットホームなクラブに参加してみませんか？

※一般社団法人日本海洋アカデミーは日本財団「海と日本PROJECT」の助成金を受け、リビエラシーボニアマリーナを活動場所として開催しています。

2021年度の活動

前期 ※前期の途中参加も可能です。 全15日	6月 6日(日)・20日(日)・27日(日)
	7月 4日(日)・11日(日)・18日(日)・25日(日)
	9月 5日(日)・12日(日)・19日(日)・26日(日)
	10月 2日(土)・3日(日)・17日(日)・31日(日)
後期 全16日	11月 7日(日)・14日(日)・21日(日)・28日(日)
	12月 5日(日)・19日(日)・26日(日)
	1月 16日(日)・23日(日)・30日(日)
	2月 6日(日)・20日(日)・27日(日)
	3月 6日(日)・13日(日)・20日(日)



お問合せ
日本海洋アカデミー
TEL.046-882-1286
Mail:kaiyofukyu@riviera.co.jp



よるセーリングを、相模湾で繰り返しています。弊社代表の渡邊昇もほぼ毎週乗り込み、陣頭指揮を続けています。

シナラの往時をご記憶の方が大勢います。同様に、少年の日にシナラの姿を目の当たりにしたこと、船の世界に足を踏み入れた現役のリビエラ社員がいます。現在キャプテンとしてシナラの舵を取る横川哲もその一人。

「どんな形でもいい、いつかシナラに関わることができたらと、夢を抱き入社したわけですが、本当にシナラの舵を握る日が来るとは……感無量です」(横川談・以下同)

ふだん駆っている新鋭艇とは勝手が違うシナラの操船に苦心しながら、横川たちクルーは、メンテナンステクニクの伝承も受けています。テストセーリングでトライ＆エラーを重ねながら、さらに調整。職人たちがよみがえらせた100年前の船体を磨き上げ、息を吹き込むのがクルーです。

「渡邊を交えたトレーニングとミーティングを重ねるたびに、クルーの顔つきや心構えが変わってきているのを実感しています。渡邊が絶えず口にする『ゼロからの挑



表紙を飾り、巻頭ページに特集が組まれた英国「Classic Boat」誌6月号

戦」という言葉の意味を噛み締めながら、スキルと人間力を高めていきたいと思っています」

**受賞の栄に浴す
それに留まることなく**

前号の本誌でもお伝えしたとおり、シナラは、英国「Classic Boat」誌主催の「クラシックボートアワード2021」において、「帆船レストア・オブ・ザ・イヤー(Over 40ft)」受賞の栄に浴しました。アワードの詳細を報じた同誌6月号は早くも完売。雑誌には異例の重版が決定したとのこと。

SDGsの盛り上がり象徴されるとおり、古き良きモノを大切に磨き上げ、後世に伝え残すことは、全世界的な共通認識。このテーマを創業以来掲げてきたリビエラは、シナラに留まらず、一層の努力を続けてまいります。

リビエラ逗子マリーナでサステナビリティを体験！

第3回

RIVIERA
SDGs Fes.

inリビエラ逗子マリーナ

2021.10/31^[日]開催決定！

出展・協賛・登壇パートナー

SDGsでつながる

パートナー募集中

お問合せ：リビエラSDGsアクション実行委員会 TEL.03-5474-8008

展示・販売

講演・トーク
セッションワーク
ショップSDGs
学生作品
コンクール作品公募
10/10までSDGs
マンガ大賞SDGsを知り考えるプログラムを
体験されたIT企業A社様の事例

「常に海を目の前にした環境にいて、自然の恩恵を享受しつつも自然の脅威に抗わず、向き合っており組んでいるリビエラから学び、この場所で体験し感じてもらいたかった。SDGsの理解が深まり、これから取り組むべき方向性、そして多くの気づきが与えられ、企業としても一人の人間としても、学びの多い機会となった1泊2日の研修でした。」(A社社長談)

スケジュール

- 1日目**
- ・オリエンテーション
 - ・リビエラ未来創りプロジェクトの活動視察
 - ・ランチ(マリブファーム)
 - ・SDGsの座学とワークショップ
 - ・ディナー(レストランテAO)
 - ・焚き火トーク
 - ・マリブホテル宿泊
- 2日目**
- ・朝食
 - ・ビーチクリーン活動
 - ・閉会式、修了証授与



お問合せ
リビエラ SDGs ラボ事務局
TEL.03-5474-8008



SDGsを通して社員同士のつながりを深める

リビエラSDGsプログラム



SDGsが注目される中、リビエラでは経営者の方々から「SDGsをどのように社内に浸透させ、取り組んでいったら良いか」と相談を受けることが多くなりました。またコロナ禍特有の、社員同

士のコミュニケーション希薄化の悩みも耳にします。「リビエラSDGsプログラム」では、リビエラの活動を通じて、その企業にとってのSDGsと一緒に考える場と、会社への帰属意識の醸成を目指す様々なカリキュラムを提供しています。それは、2006年「リビエラ未来創りプロジェクト」を立ち上げ、SDGsの良さを理解しながらも、社員一人一人が腹落ちして行動するまでの苦労も乗り越えてきた、リビエラならではの役立ち方として行っています。



おいしく、たのしく、地球にやさしく。

「ブルーシーフードパートナー」加盟



おいしく豊富な、地球にやさしいブルーシーフードで海に休息を。ブルーシーフードパートナーとして、イベント開催や情報を発信します。

Message

セイラズフォーザシー日本支局は、持続可能な社会を目指し、次世代に美しい海を受け渡すための活動を行っています。なかでも「ブルーシーフードガイド」は、科学的評価で合格した、サステナブルな水産物の消費を促進しています。この私たちの理念に賛同いただき、リビエラグループとパートナーシップを結んだことを大変嬉しく思います。リビエラを訪れるお客様が、食事を楽しみながら持続可能な選択ができることを期待しております。



(一社)セイラズフォーザシー
日本支局
理事長 井植美奈子氏

ブルーシーフードの一覧はこちら
<https://sailorsforthesea.jp/blueseafood>

ブルーシーフードパートナーに認定されました

環境、教育、健康・医療の3本柱で取り組む「リビエラ未来創りプロジェクト」。その中でも、料亭「白雲閣」開業から71年の長きに渡り「食」を提供しているリビエラは、「食べたもので身体は作られる」と日頃より考え、自社内での循環型農法で野菜を栽培し、同時に食品ロスとCO₂削減を実践しています。また海を目の前に、数々の環境に対する活動を行っています。海の環境と未来の「食」を守るブルーシーフードの理念に賛同し、ブルーシーフードの情報発信やイベント開催をしていきます。

ブルーシーフードとは？

乱獲やIUU漁業と呼ばれる違法・無報告・無規制漁業、そして地球温暖化が原因で枯渇する魚介類が増えていきます。そこでサステナブルな水産物を優先的に選択し、枯渇した魚種の回復を待つ。これが未来を生きる子どもたちに健康な海を残すための、地球にやさしい考え方です。

米国ロックフェラー家当主のデイビッド・ロックフェラー氏が設立した米NGO団体「セイラズフォーザシー」の日本支局が「ブルーシーフードガイド」を発行。ロックフェラー名誉会長も「ブルーシーフードを楽しく食べて海に休息を」と呼びかけています。

ブルーシーフードイベント開催

7/22(祝・木)@リビエラ東京

セイラズフォーザシー日本支局
東京都包括協定締結記念
ブルーシーフード特別和会席

セイラズフォーザシー日本支局と東京都との包括協定締結を記念し、海の日、水産物はブルーシーフードのみを提供する1日限りのイベントを東京で開催します。

【受付】16:30
【開始】17:00
【場所】リビエラ東京

ご予約・お問合せ
リビエラ東京
(イベントデスク)
TEL.03-3981-3233



8/11(水)~13(金)@リビエラ逗子マリーナ

シェフズテーブル by 伊藤

ポップアップ和食レストラン
「UMI」

リビエラ循環野菜(地元農家と協力)とブルーシーフードを積極的に用いた和食のレストランを期間限定でオープンします。

【予約時間】11:30~、13:00~、
14:30~
【場所】リビエラ逗子マリーナ

ご予約・お問合せ
リビエラ逗子マリーナ
(イベントデスク)
TEL.0467-23-0028



リビエラ逗子マリーナでラグジュアリーに船舶免許取得 旅行しながらパートナーやファミリーと一緒に ボートライセンス × マリブホテル



3密回避でアウトドアに関心が高まったコロナ禍の2020年度、マリンレジャーも注目され小型船舶免許の取得者が7万人超(25%増)とのニュースを裏付けるように、「ライセンスを取得したいのに、人気で予約が取れない」との相談を、リビエラではよく承ります。

そこでこの度、リビエラ・ボートライセンスでは、国家試験免除のラグジュアリーなプランが誕生しました。

一人で合宿？いえ、パートナーやファミリーも一緒にどうぞ。同伴者は鎌倉散策やスパ等のアクティビティを。食事や宿泊は一緒なので、充実したリゾートトリップが満喫できます。さらに船のある人生を体験できる「卒業クルージング(1day)」が含まれたプランもご用意。ご家族やご友人と初クルージングすることも！他ではできないリビエラ逗子マリーナならではのプランをぜひご利用ください。

国家試験免除プラン

国家試験免除【青山/逗子教室】
マリブホテル宿泊付2級船舶免許
ゆったり3日間プラン

受験者		ご同伴者	
1日目(青山)	AM	学科講習	
	PM		
2日目(逗子)	AM	学科講習/審査	ご自宅より移動
	PM	ランチ(マリブファーム)	
		実技講習/審査	アクティビティ(*オプション)や湘南散策
		夕食(レストランテAO)	
		宿泊(マリブホテル)	
3日目(逗子)	AM	朝食(マリブホテル)	
	PM	卒業クルージング(船上ランチ付) ※別日に振替可能	

卒業クルージング(船上ランチ付)
免許取得の記念に、ボートを1dayチャーターして非日常の世界へ！船のある人生を贅沢に体験できるスペシャルコースです。



国家試験免除【逗子教室】
マリブホテル宿泊付2級船舶免許
2日間プラン

受験者		ご同伴者	
1日目(逗子)	AM	学科講習	ご自宅より移動
	PM	ランチ(マリブファーム)	
		実技講習/審査	アクティビティ(*オプション)や湘南散策
		夕食(レストランテAO)	
2日目(逗子)	AM	朝食(マリブホテル)	
		学科講習	
	PM	ランチ(ロンハー・マンカフェ)	
		学科講習/審査	アクティビティ(*オプション)や湘南散策
別日	AM	卒業クルージング(船上ランチ付) ※別日に振替可能	
	PM		

オプション

- ・貸し切りショートクルージング(3h)
- ・スパ
- ・プライベートヨガなど

オンラインプラン

宿泊なし・国家試験必須
【オンライン/逗子教室】
2級船舶免許プラン

受験者	
1日目	AM 学科講習 (自宅等でオンライン)
	PM 学科講習 (自宅等でオンライン)
2日目(逗子)	AM 学科講習
	PM ランチ(マリブファーム) 実技講習
別日	国家試験

※スケジュールは一例です。土日での開催や曜日のご相談等、お気軽にお問い合わせください。
※最少催行人数は受講される方が2名以上の場合といたしますので、あらかじめご了承ください。

お問合せ
リビエラ・ボートライセンス
TEL0467-24-1000



夏の恒例、下田から三浦まで相模湾を満喫するヨットレースを、今年も8月22日に開催します。

エントリー受付中

39th Riviera Zushi Marina Yacht Race Kayama Yuzo Invitational WAKADAISHO CUP 2021.10.24sun.



若大将こと加山雄三さんと一緒に楽しむ
人気ヨットレースが、
今年も10月24日(日)に開催予定です。

レース初心者から本格レーサーまで楽しめる、多くの参加艇が集まるオープンレース。
詳細は、決定次第オフィシャルホームページで公開いたします。
どうぞお楽しみに。

種目：クルーザーヨットレース/ディンギーヨットレース



お問合せ
リビエラリゾート ヨットレース事務局
TEL046-882-1286 〒238-0225 神奈川県三浦市三崎町小網代1286
yachtrace@riviera.co.jp https://www.riviera.co.jp/marina/event/





RIVIERA

日本正規総合代理店 株式会社リビエラリゾート

Tel.0467-24-1000 sales@riviera.co.jp



RIVIERA
SWAN
ASIAN REGATTA 2021

リビエラ・スワン・
アジアレガッタ 2021
2021.10.29-31

〔随時更新中〕
レースや陸上イベント・
パーティーの
最新情報はこちら



ISPAサーティフィケート (トレーニングプログラム)

【Competent Crew Sail】

良好な天候の下で40フィート未満のセールボートを安全に操船できる技量

【Day Skipper Sail】

良好な天候の下で45フィート未満のセールボートを安全に操船できる技量
(日帰りベアボートチャーターの一般的な技量判定基準)

トレーニングプログラム開催日

トレーニング日数：1コース6日間

定員：4名(最少催行人数2名)

9月コース： 9日(木)・10日(金)・11日(土)・16日(木)・
17日(金)・18日(土)

10月コース： 14日(木)・15日(金)・16日(土)・21日(木)・
22日(金)・23日(土)

【参加費】おひとり様 165,000円(税込)

【開催地】リビエラシーボニアマリーナ

※参加者全員の合意があればリビエラ逗子マリーナまたは葉山港での開催も可能

お問合せ
リビエラリゾート海洋普及
TEL.046-882-1286
Mail: kaiyofukyu@riviera.co.jp



Riviera Sail & Power Academy

大自然に抱かれた相模湾で
ISPAのプログラムにチャレンジしてみませんか？

リビエラシーボニアマリーナでは、セーリングスクール「Riviera Sail & Power Academy」をスタートいたしました。これは、カナダを本拠地とするISPA* (International Sail & Power Academy)が開発・提供するトレーニングプログラムを基本にしています。

クルーザーヨットをこれから始めたいと思っている方はもちろん、現在ヨットに乗っている方のスキルアップなどに、ISPAのメソッドを基に基礎から学ぶことができます。ISPAトレーニングプログラムはご自身の技量に合わせ、順を追って効率的・合理的に学べる構成です。安全にクルージングを楽しんでいただくために段階的に、サーティフィケートを取得することをおすすめしています。

まずは、Riviera Sail & Power Academyにて【Competent Crew Sail】【Day Skipper Sail】のサーティフィケートを取得し、さらに上級のプログラムはカナダでのトレーニングに進むことが可能です。カナダでサーティフィケートを取得すれば、海外の提携マリーナでヨットをチャーターすることができるようになります。世界の海をより自由に楽しむために挑戦してみませんか？



茶寮リビエラの庭(リビエラ東京)×熊本県

7/31(土)まで「火の国」熊本の旬を 茶寮リビエラの庭で味わう

熊本地震から5年、この春には
復興のシンボル・熊本城天守閣の復旧が完了。
応援の気持ちを込めて「熊本フェア」を開催中です。

—— イベント情報 ——

5/13(木)
～7/31(土)
「熊本フェア」

8/23(月)
～9/30(木)
「北海道フェア」



ご予約・お問合せ
茶寮リビエラの庭
TEL.03-3981-3231

豊かな大自然のエネルギーを
特別会席で愉しむ

リビエラ東京では、1980年より
35回にわたる食のイベント「旬づく
し」を開催してきました。伝統の食
文化を守り続ける生産者を応援し、
地域経済活性化を図ることはリビエ
ラのSDGs「リビエラ未来創りプロ
ジェクト」の一環でもあります。

「茶寮リビエラの庭」にて2021
年5～7月に開催中の「熊本フェア」
は、2016年の震災や豪雨被害か
らの復興活動を応援すると共に、コ
ロナの影響で落ち込んだ食材需要を
喚起する目的で実施しています。

古来より「火の国」と呼ばれ、豊
富な水源と暖かな気候、阿蘇の土壌
に恵まれた食材の宝庫でもある熊本
県。あか牛や天草大王、クルマエビ、
トマト、からし連根などの熊本の美食
を、滝の水音をBGMに、開放的な
「都会の森」でご堪能いただけます。

リビエラのおせち

8/1(日) 予約販売 開始



ご予約はこちら

RIVIERA Staff's Voice

シナーラクルーに抜擢されて叶えた 幼き頃からの夢、そしてロマン

小学生の時の夢は、「いつかは世界の海へ」。
その想いは大人になっても変わらずシーマンに、そしていま「シナーラ」の甲板長に。
シナーラのレストアが完遂して完成ではなく、
そこに乗る磨き上げられたクルーを目指して、人としての成長を実感する日々。

“クレイジーは最高の褒め言葉” 海を愛する“シーマン”が描いた夢とは

リビエラリゾートに籍を置く齋藤の下の名は「^{ひろみ}広海」。この世に生を受けた時から、海と生きることが決まっていたのかもしれませんが。高さ30mにおよぶ「シナーラ」のマストに登り、磨き上げ作業をする齋藤の姿は、まさにシーマン。クルーの中でもひとときわ黒く日焼けした肌が印象的な「シナーラ」の甲板長です。

護衛艦に乗りたいと海上自衛隊の職に就いたものの、航空管制という陸上での勤務を担うことになった齋藤は、海への想いを捨てられずリビエラへ。

「海が大好きという根っこは子どもの頃から変わらない。自然はいつも違う表情を見せるので、毎日が発見で、勉強です。海バカともクレイジーとも言われますが、僕にとっては最高の誉め言葉です。」と、齋藤は満面の笑みで語ります。

「シナーラに携わる前までは海洋普及に従事し、『リビエラ未来創りプロジェクト』の一環として運営する『日本海洋アカデミー』では、子どもたちに海の楽しさや厳しさ、環境の大切さを伝えたり、ヨット操縦を教えていました。シナーラのレストアは、同じリビエラシーボニアマリーナ内で作業が進められていたので近くで見ることがありましたが、まさか自分がそのクルーの一員に抜擢されるとは思ってもみませんでした。シナーラのクルーにならないかという打診をいただいた当初は、正直悩みました。こんなに大きな船に携わったことがなく、ましてやクラシックヨットということで不安でしたが、ヨットで世界を旅したいという子どもの頃の夢を思うと、気持ちを抑えることができずに“ぜひやらせてください”と返事していました。」

白石康次郎氏の講演がきっかけで ヨットマンとしての青春時代を過ごす

齋藤がヨットにのめり込んだのは10歳のとき。
「僕が通う小学校で、当時26歳という若さで単独無寄港の世界一周を果たしたばかりの白石康次郎さんの講演を聴き、胸がわくわくしたのを今でも覚えています。白石さんの講演は、僕の人生を揺り動かすくらいエキサイティングでした。幼少期から両親と小型ヨットに乗ることはありま



したが、自分でヨットを操船したいと意識したのはこの講演がきっかけでした。」

相模湾でヨットを駆る青春時代を送り、高校、大学時代は世界クラスのレースにも数々挑み、輝かしい成績を収めてきました。

「シナーラ」は夢であり、ロマン。

レストアを終えた「シナーラ」は、相模湾でセーリングを続けています。毎週のトレーニングやミーティングに加え、日々のオンラインでのやりとりを通じて会長の渡邊から学び、「人は変えられるんだ」と実感していると言います。

「リビエラではロマンが語られます。僕にとっても、シナーラはロマンです。世界を船で駆けたいという夢に手が届きそうなところにあります。成長を重ね、最高のシナーラとともに、クルーとして大海原を旅できたらいいなと思っています。」

Presenter

リビエラリゾート
シナーラクルー
甲板長

齋藤広海



セイラズフォーザシー日本支局 東京都包括協定締結記念
ブルーシーフード特別和会席



写真はイメージです

セイラズフォーザシー日本支局と東京都との包括協定締結を記念し、おいしく、たのしく、地球にやさしいブルーシーフードを味わうイベントを海の日に東京都の池袋で開催します。水産物はブルーシーフードのみを提供する和会席をお楽しみに！



リビエラグループは
ブルーシーフードパートナーに
認定されました

要予約・お問合せ
リビエラ東京
(イベントデスク)
TEL.03-3981-3233



【場所】リビエラ東京
【日程】7/22(祝・木)
【時間】受付 16:30 開始 17:00
【金額】12,000円(税込・サービス料別)

テイクアウトBOX販売



シーボニア クラブハウスレストランのクラブハウスサンドと
パストラミビーフのパケットサンドが、コーヒーまたは紅茶付
きでお持ち帰りいただけるテイクアウトBOXになりました。船の
上やご自宅、ドライブしながらのお食事にぜひご利用ください。

【場 所】シーボニア クラブハウスレストラン

【営業時間】平日

ラン チ／11:00～16:30(15:30 L.O.)
土・日・祝日
ラン チ／11:00～15:30 L.O.
カ フェ／15:30～17:00 L.O.
ディナー／17:00～20:00(19:00 L.O.)

【金 額】1,870円(税込)

※プラス330円でお飲み物を本日のスープに変更可能

ご予約・お問合せ

シーボニア
クラブハウスレストラン
TEL.046-882-1216



ダイヤモンド富士鑑賞ディナー＆クルーズ



『半年に1度の奇跡』自然界が起こす神秘的絶景を豪華カタマラン
ヨットのクルージングで、遮るもののない海上から鑑賞しま
す。幻想的な景観の余韻に浸りながら、リストランテAOでの特
別ディナーをお楽しみください。

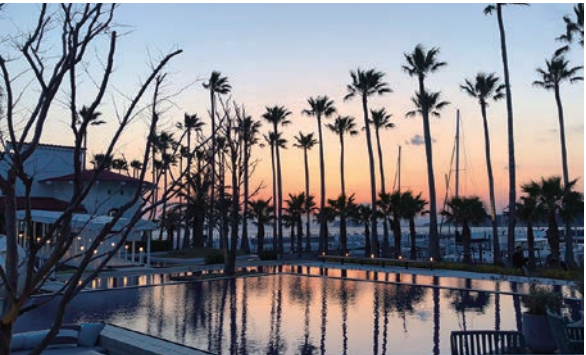
【場所】リストランテAO 逗子マリーナ
【日程】9/4(土)
【時間】16:45集合→17:00出港→18:00帰港後ディナー
【金額】大人／11,000円(税込・サービス料別)
小人(小学生以上)／5,500円(税込・サービス料別)

要予約・お問合せ

リストランテAO
逗子マリーナ
TEL.0467-25-0480



サンセットライブ in マリブファーム



いよいよ夏本番！気持ちの良い海風と潮の香りを感じながらの
サンセットライブは毎回大人気のイベントです。夏休み期間は
毎週開催しておりますので、三密を避けられる開放的な空間で、
気軽に音楽をお楽しみください。

【場 所】マリブファーム 逗子マリーナ
【日 程】7/10(土).8/8(祝・日).8/21(土) Rachel Fukushima
7/24(土).8/14(土).8/28(土) Yacht Bianco

【時 間】開演／17:00～
【営業時間】ラン チ／11:00～15:00(14:30 L.O.)
カ フェ／15:00～16:30(16:00 L.O.)
ディナー／17:00～21:00(20:00 L.O.)

【金 額】無料

ご予約・お問合せ

マリブファーム
逗子マリーナ
TEL.0467-23-0087



花のある暮らし
～竹田浩子さんに学ぶ～



ミキモトやウエダジュエラーなど数々のラグジュアリーブラン
ドの装飾、雑誌の撮影など幅広く活躍中の竹田浩子さんによる
特別フラワーレッスン。皆さま待望の逗子クラスを開講いたし
ます。都心から60分、海沿いでのレッスンもお楽しみください。



今回のテーマは
アーティフィシャルフラワー

要予約・お問合せ
リビエラ
ライフデザイン倶楽部
TEL.03-5474-8008



【場所】リビエラ逗子マリーナ
【日程】9/16(木)
【時間】10:00～11:30
【金額】19,500円(税込)

Poolside White Party at Sunset
～野外ディナー×音楽×プールサイド～



水平線にサンセットが沈むリビエラ逗子マリーナの中でも特別
なプールサイド。夏の夜長に、潮風を感じるプールサイドでソウ
ルフルな音楽とディナーをお楽しみください。大人がリズムに
乗ってしまう懐かしいナンバーをお贈りします。

【ドレスコード：白】
【愛犬同伴OK席あり】



クルーズ船でも人気の高い
Sons of soulが出演

【場所】リビエラ逗子マリーナ
【日程】8/7(土)
【時間】16:00～20:00
【金額】ライブ・ディナーボックス付 11,000円(税込)～
【詳細】オンライン完全予約制

要予約・お問合せ
リビエラ逗子マリーナ
(イベントデスク)
TEL.0467-23-0028



Chef's Table by 伊藤
～ポップアップ和食レストラン「UMI」～



ブルーシーフードをメインに、シェフ伊藤が3日間限定の和食
レストランをオープン。「リビエラ循環野菜×ブルーシーフード×
オーシャンビュー」をテーマに、水平線を一直線に眺められる
特別なロケーションで、スペシャルなひとときをお過ごしください。



リビエラグループは
ブルーシーフードパートナーに
認定されました

要予約・お問合せ
リビエラ逗子マリーナ
(イベントデスク)
TEL.0467-23-0028



【場所】リビエラ逗子マリーナ
【日程】8/11(水)～8/13(金)
【時間】11:30～、13:00～、14:30～
【金額】2,500円(税込・サービス料別)～
※メニューは当日お選びいただけます

ONE ETHICAL



食・学・買を通じて、楽しみながら“エシカル”を実践できるイベ
ントを開催します。一人ひとりの行動が未来に繋がる、今話題の
エシカル消費を始めませんか？夏休みは、リビエラ逗子マリー
ナへ!! (リビエラのSDGs「リビエラ未来創りプロジェクト」)



「MALIBU ETHICAL SHOP」
OPEN

【場所】リビエラ逗子マリーナ
【日程】8/11(水)～8/13(金) 【時間】10:00～日没
【内容】①:ポップアップ和食レストラン「UMI」
②:夏休み自由研究にも最適！
子供から大人まで対象のワークショップ
③:リビエラ・エシカル・マルシェ

ご予約・お問合せ
リビエラ逗子マリーナ
(イベントデスク)
TEL.0467-23-0028





リビエラ逗子マリーナ

湘南の海と富士山を望む
抜群のロケーションの
大人のマリーナリゾート
総合お問合せ Tel.0467-23-2111
〒249-0008 神奈川県逗子市小坪5-23-9



HP



Facebook



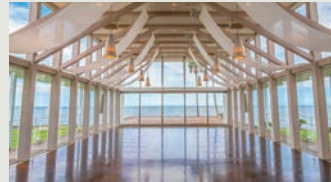
Instagram



MALIBU HOTEL
Tel.0467-23-0077
わずか11室のオールスイート



リビエラリゾート不動産
Tel.0467-23-5615
藤沢・鎌倉・逗子・葉山・横須賀・三浦の不動産



会場貸し Meeting & Events
Tel.0467-23-0028
展示会・コンサート・会議・パーティーなどの
イベント会場



Ristrante AO
Tel.0467-25-0480
ランチ・ディナー
火曜定休(祝日は営業)



MALIBU FARM
Tel.0467-23-0087
ランチ・カフェ・ディナー
火曜定休(祝日は営業)



Ron Herman Cafe 逗子マリーナ店
Tel.0467-23-2153
無休



リビエラ東京

料亭『白雲閣』70余年の歴史が
おもてなしと伝統の味わいを繋ぐ
都会の森
総合お問合せ Tel.03-3981-3231
〒171-0021 東京都豊島区西池袋5-9-5



HP



Facebook



Instagram



会場貸し Meeting & Events
Tel.03-3981-3233



茶寮リビエラの庭
Tel.03-3981-3231
ランチ・ディナー
火曜・水曜定休(祝日は営業)
※完全予約制



リビエラシーボニアマリーナ

世界に誇る美しい海と
貴重な生態系を残す森に抱かれ
マリンライフを満喫
総合お問合せ Tel.046-882-1212
〒238-0225 神奈川県三浦市三崎町小網代1286



HP



Facebook



Instagram



シーボニア クラブハウスレストラン
Tel.046-882-1216
【平日】ランチ
【土日祝】ランチ・カフェ・ディナー
月曜・火曜・水曜定休(祝日は営業)

9/4(土) 日野皓正



7/3(土) 山下洋輔スペシャルカルテット



photo Akihiko Sonoda

10/2(土) MALTA四重奏団



SHONAN JAZZ BY THE SEA
in RIVIERA ZUSHI MARINA

毎月1回土曜日夜、リビエラ逗子マリーナで開催の大人が集う
ジャズ。潮風を感じる絶好のロケーションで、日本を代表する
ジャズアーティストの演奏を堪能しませんか？おひとりでも、
カップルでも、グループでも、老若男女問わずお楽しみいた
だけます。

7/3(土) 山下洋輔スペシャルカルテット
MUSIC CHARGE 6,000円(税込)
(6/6(日)10:00発売開始)

9/4(土) 日野皓正
MUSIC CHARGE 8,000円(税込)
(8/8(祝・日)10:00発売開始)

10/2(土) MALTA四重奏団
MUSIC CHARGE 6,000円
(9/5(日)10:00発売開始)

ご予約・お問合せ

湘南ビーチFM
TEL.046-870-3313



【会場】リビエラ逗子マリーナ
【時間】開場／17:00
開演／18:00

YouTube リビエラチャンネル

各マリーナのライブカメラの他、
さまざまなコンテンツを随時アッ
プしています。ぜひ登録してご覧
ください。

YouTube視聴は
こちら▶



リビエラ メールマガジン

リビエラグループで行われる最新
イベント情報や、リビエラリゾー
ト不動産で取り扱う物件情報など
を配信しています。



メルマガご登録は
こちら▶



リビエラグループ 公式LINE

よりリアルタイムでリビエラグ
ループの最新情報をお届けします。
メニュー画面から簡単に各施設や
イベント情報を検索できます。



LINEご登録は
こちら▶



買わない贅沢
プレステージ会員制シェアクラブ

会員募集中 Tel.0467-23-2458



HP





MALIBU HOTEL

HOME AWAY
FROM HOME

RIVIERA
MAGAZINE

Summer
2021
No.15

リビエラマガジン

発行＝株式会社リビエラホールディングス
編集・制作＝リビエラマガジン編集部

2021年6月発行（年4回）
〒107-0062 東京都港区南青山3-3-3 リビエラ南青山ビル TEL.03-5474-8120 www.riviera.co.jp